

所 信

前へ

～世界に誇れる奈良を目指して～

一般社団法人奈良青年会議所
第58代理事長 西田 新

【はじめに】

学生時代を経て社会人となり、このまちに戻ってきた私にとってJCへの入会は挑戦と成長の機会を与えてくれる存在でした。そのことは今も変わりなく、常に新しい課題を与えてくれています。また、私が悩んだときに背中を押してくれたのもJCの先輩や仲間であり、その人達はJAYCEEとしてだけでなく社会人として、一人の人間として尊敬できる人たちでもありました。まちの未来を考え、気概と覚悟を持った先輩たちの姿は輝いて見え、自分もいつかそうなりたいと必死に背中を追い続けてきました。皆様にとってもJCが私と同じ存在であってほしいと願います。なぜなら、何事にも真摯に向き合うことのできる私たちこそが誰もが夢を描けるまちを創ることができるからです。

【世界に誇れる奈良】

誰もが夢を描けるまちを創るためには私たち自身がまちの姿を語るができなければなりません。私たちがまちを語るができなければ、他のまちの良さも受け入れることはできません。そして、今以上にまちのことを知ることで、まちで暮らす自分の姿を知ることができます。つまり、私たちが確固とした価値観を持って成長していくことがまちの未来につながっていくのです。さらに、これまでの貨幣に代表される目に見えるものへ対する価値観から、日本人としての心といった目に見えないものに対する価値観を持つことがこれからの時代に必要となってきます。私たちが住み暮らす奈良では古来より他を慮る思いやりの心を大切にきており、現代にもその精神性が受け継がれています。まさにこの奈良の地で運動を展開している私たちは、これからの時代に必要な価値観を先人たちより受け継いでいるのです。今こそ、目に見えないものに対して価値観を見出した私たちが描くまちの姿を、建国の地である奈良から世界中に発信することが必要です。

【まちの未来のために】

まちの未来を創るのは市民であり、すなわち私たちの責務でもあります。情報の多様化や国外からの観光客の増加に伴い、まちのかたちが大きく変化を遂げようとしている近年、私たちは奈良という地域だけでなく国家に対しても当事者意識を持たなければなりません。

私たちが生活の拠点とする奈良は世界に誇る文化と歴史溢れるまちであり、毎年国内をはじめ国外からも多くの観光客が訪れる日本でも有数の観光都市です。しかし、奈良を訪れる観光客を見てみると年々増加はしていますが、宿泊客の割合は1割程度にしかありません。行政だけでなく、民間の立場である私たちも国際文化観光都市としての魅力を高め、国内だけでなく国外からの観光客が1日を通して「訪れたいまち」と思えるようにするとともに市民にとって「住み続けたいまち」にすることが重要です。さらに、行政が進めているまちづくりに対しての政策や戦略にも触れていき、地域の問題点と課題を抽出することで、さらなる地域の活性化につなげてまいりましょう。さらに、私たちの地域はリニア中央新幹線の中間駅としての誘致が決定しており、開通が実現すれば奈良を訪れる観光客は大幅に増加することが予想されます。このような明るい未来に対して、変化を恐れることなくまちの人びとや関係諸団体の皆様と未来を見据えたビジョンを描き出し、世代を超えたアピールをしてまいりましょう。

また、昨年には選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、国民の選挙に対する関心が全国で高まりました。政策による政治選択を目指す青年会議所にとって、候補者の声を正確に市民に届けることが私たちの役目と受け止め、有権者だけでなく次代を担う子供たちにも地域、そして国家の主権者としての自覚と判断力を養うことのできる機会を創ってまいりませう。

【資質向上】

私たちは、地域からの信頼に応え、市民の意識を変革していくために、説得力と実行力を備えた団体に成長していく必要があるとともに、会員一人ひとりの質も向上させていく必要があります。そのために今一度、まず自身が地域を変革する団体の一員として相応しいか、言っていることとやっていることの違う行動を取っていないか見つめ直すことが必要です。J Cの名刺を持って対外の皆様と接するとき、相手にとってはあなたが奈良青年会議所のイメージとなります。私たちの何気ない行動が、J Cの価値を左右するということを常に意識し、私たちは家族、会社、仲間という多くの方々の支えで活動ができていることを決して忘れず、青年経済人として、社会人としての自身の立ち振る舞いと相手を思いやる心を持って行動してまいりましょう。私はまちづくりはひとづくりから始まると考えています。まちのために、そして自身のために必要な知識を吸収し、物事を考え、おもいやりの心を持つことにより見識を高め、そして積極的に行動に移すことで胆識を養うことが必要です。

また、本年も奈良青年会議所より日本青年会議所をはじめ近畿地区協議会、奈良ブロック協議会へ多くの出向者を輩出します。出向される皆さまには自己の更なる成長への機会と捉え、出向先で学んだことをLOMに持ち帰り、多くのメンバーに出向の魅力を伝えていただくことを願っています。そして、客観的な視野から生まれる意見や政策を積極的に取り入れ、組織の活性化につなげてまいりませう。

【会員拡大】

私たちが展開する運動をより大きく発信していくためにも、そして強い組織に成長するためにも会員拡大は重要です。会員拡大はJ Cの魅力伝えていくことから、J C運動そのものであるとも言えます。本年は今までの会員拡大運動を見つめなおし、その場しのぎの運動ではなく、年間を通した戦略をたて会員拡大に臨んでまいりましょう。また、私たちが青年会議所に入会して、自分がどう変わったか、何をしてきたかを伝えることも必要です。そして、奈良青年会議所の活動エリアは奈良市だけに限りません。私たちが持つネットワークを最大限に活かし、このまちの未来を担う仲間を一人でも多く集めてまいりましょう。さらに、ただ組織の歴史を伝えるだけでなく、全国各地青年会議所や他団体の成功例を調査するとともに、特別会員の皆様ともこれまで以上に連携を図り、本年度以降にも活用できる拡大の仕組みを造ることで組織の活性化を図りましょう。私たちの運動はアイデア1つで地域を変えることができます。10人であれば10通り、100人であれば100通りのアイデアが生まれます。会員拡大の先にある運動の可能性を信じて、会員全員で取り組むことが必要です。

【運動発信】

私たちの運動はただ実行するだけでは意味がなく、地域からの共感を得ることができなければ自己満足の団体になってしまいます。共感を得るための手段が広報です。SNSが一般化され、様々なコミュニケーションツールを選択することができる現在において、私たちは、J C運動をあらゆる形で市民に伝え、奈良青年会議所の価値を高めていかなければなりません。そのためには情報の受け手側の立場になり、どのような情報を欲しているのか、どんなことが知りたいのかを的確に見抜き、一番効果の高いターゲットを絞って運動発進を行うなど戦略をたてていくことが必要です。また、本年は情報の見せ方にも取り組んでまいります。広報は、私たちが動けば動くほど結果が出ると私は考えています。運動発信に新たな手段を用いることや、既存の手法に対しても今までに無い斬新なアイデアと工夫を加え、情報発信を展開してまいります。

【新たな仲間とともに】

私たちは明るい豊かな社会を創造するためにも、地域の問題解決に向き合うことのできる青年を一人でも多く生み出さなければなりません。市民の皆様に対してだけでなく、組織に対しても、失敗を恐れず物事に果敢に挑戦していくリーダーとしての姿を、自らの行動によって示すことが必要です。新たに奈良青年会議所の門を叩く新入会員の皆さまには、事業への参加や運営に携わっていただくとともに、事業の成り立ちについても学ぶとともに、私たちが創り上げる運動がどのような過程を踏み、実現に至るのかを肌で感じることで自己の成長につなげる機会としていただきたい。そして、あなたが持つ可能性を信じ、地域を引率するリーダーとして、このJ Cというフィールドで共に歩んでまいりましょう。

【組織運営】

私たちは、地域の課題を抽出し解決に向けた運動を展開するだけでなく、組織の課題も58年の歴史の中で絶えず改善してきたことで組織を強化してきました。運動を展開する組織として、新しいことを導入する進化や改善無しにこれからの時代を切り開くことはできなく、市民や行政などの信頼に応え得る強い組織であることが必要です。広い視野を持ち、運動を側面から支えていくことで、財務体質のさらなる強化を図り、組織強化に努めることで地域社会と向き合う、それこそがJC運動の出発点であると考えます。組織を運営していくうえで、青年経済人として秩序を守り、社会的責任を果たしていくことが、未来を見据えた行動であり私たちの使命でもあります。私たちは、運動と運営という両輪が互いに相乗し合い、最高のパフォーマンスが発揮できる運動体を形成していかなければなりません。

【おわりに】

私たちは奈良というまちの一員であるとともに、日本という国家の一員でもあります。そして、国家を創っているのは地域であり、地域を創るのは私たち人であります。誰のための、何のためのJCなのかを今一度自らの胸に問うてください。そして、自分と向き合い続けることであなたにしかできないJCを邁進してまいりましょう。私たち自身の成長こそが地域の未来、ひいては国家の未来へつながり明るい豊かな社会の創造への一歩となることは間違いありません。そして、私たちの運動を次の世代にバトンを送るためにも、この限られた時間を後悔の無いように精一杯生きてまいりましょう。

昨日より今日が良い日であったと言えるように。

今日より明日が良い日になるように。

その先に私たちが目指すまちの姿があると信じて。

私たちが運動を進める中で時には逆風が吹き、壁にぶち当たるときもあるでしょう。

しかし、このことだけは忘れないでいただきたい。

あなたは決して一人ではありません。

あなたには周りを見渡せば仲間がいます。後ろを振り返れば先輩が優しく見守ってくれています。

未来を生きる人たちのことを思い、私たち一人ひとりが妥協することなく前へと進む強さが備わったとき、奈良青年会議所の運動は確かな一歩を歩むことができるのです。